

## 外部評価委員による主な意見

【令和元年7月4日】

### 1 将来性豊かな入学者の確保

- ・受験者数 50 名以上の目標達成に向けて、高校生の意識醸成に加え親の理解を深めていただくことが大事ではないか。
- ・専修科も導入されており、4 年生大学や県庁などの公務員養成の道も進路の選択肢として広がったことは評価できる。
- ・「ここでしか学べない先進技術を備えた農大へ行きたい」という志を持つ学生を増やすため、高校の先生への P R や工夫が必要ではないか。

### 2 高い技術力や経営力の習得、資格等の取得向上

- ・ドローン資格取得推進や統合環境施設などの新技術が導入されてきているが、水田圃場管理システムなど最新・最先端技術などを導入してはどうか。
- ・スマート、I C T のキーワードは大事である。「先端情報」、「技術」、「実践」を柱に推進してはどうか。
- ・大規模低コスト、小規模高品質に加え、経営力の養成が重要である。

### 3 すべての学生の進路決定

就職実績（就職率 100%）について、60 数件の就職先をもっと P R してはどうか。

### 4 社会人からの就農者の確保

新規就農の場合は、農地、倉庫、機械等初期投資の負担が大きく人員確保が難しい。出口対策の強化を図る必要がある。

### 5 農業者研修の充実

農産物加工研修の充実のため、指導する先生の拡充をお願いしたい。